完成後の滝上町国民健康保険診療所（左は旧診療所）

道経連会報 No.300 CONTENTS

巻頭言 ―― 1

第71回北海道経済懇談会 ―― 2

北海道電力 泊発電所３号機の早期再稼動に向けた要望書の提出 ―― 14

2025年度「次世代経営人財ゼミ」開講 ―― 16

常任理事会レポート ―― 20

委員会の動き ―― 27

会員企業紹介 ―― 36

新会員企業紹介 ―― 38

グループ活動報告 ―― 39

北海道の経済動向 ―― 50

人事・労務相談日 ―― 52

道経連カレンダー ―― 53

会員入会のお知らせ ―― 53

事務局人事 ―― 54

わがまち紹介（滝上町） ―― 58

巻頭言

北海道経済連合会　副会長

増田　仁志

株式会社北洋銀行

取締役副頭取兼CBPO

北海道の魅力度・幸福度をともに日本一へ

有珠山の麓、虻田町（現洞爺湖町）に生まれ札幌で育ちました。昭和62年北洋相互銀行（現北洋銀行）に入社以来勤務も道内、生粋の道産子であります。北海道を内側からしか見ていない面は否めませんが、社会に出てからは極力客観的に北海道を見るよう意識してきたと思います。この38年間、世の中の仕組みはグローバル化・自由化・デジタル化が同時にそして急激に変化し続け、我が北海道も進化してきたと思います。一方「可能性の大

地」「ポテンシャルは日本一」等々の表現は長く使われ、北海道の原材料が他地域で高付加価値商品となっている等、多く耳にしてきた課題例であると思います。

今の北海道はどうでしょうか。従前からの課題、人口減少等の社会的課題の深刻化はありますが、自然エネルギーによる発電は既に日本一、食糧基地としての重要性は高まるばかりです。雄大な自然や冷涼な気候等、元々北海道が持つこの魅力は国内外から再評価され多面的に資本投下が行われています。近年の急速な気候変動は歓迎すべき事ではありませんが、道産米は品種改良効果と相まってとても美味しく、一等米比率等からも最高品質産地と言って良いでしょう。高級ワイン用葡萄ピノ・ノワールの道内栽培面積が昨年最大品種となり、ワイナリー増加の話題には事欠きません。北海道の主要産業「食」「観光」の魅力は今後更に高まり発展し続けて行くと考えています。関連してIR（カジノを含む統合型リゾート）整備法に基づく誘致は北海道らしいIRの実現により、主な対象となる世界の富裕層を呼込み、幅広い産業の発展に大きな要素となるでしょう。

加えて世界的なESG対応の高まりを背景に、北海道と札幌市は昨年「特区」指定を受け、金融面からも多額のGX関連投資資金が回る新しい仕組み創りが進んでいます。自然エネルギーや再エネへの投資、関連施設の整備事業等も官民連携を伴い大幅に拡大していきます。更に、最先端半導体工場の本格稼働を見据えサプライヤーやユーザー企業の集積が始まり、十勝地区では宇宙産業に多くの資本が集まり、世界市場を見据えた準備が進んでいます。これらの強く新しい風は既存産業との強いシナジーを生み、北海道の多くの課題を打ち返す原動力となります。

前置きが長くなりました。北洋銀行グループは今年８月、2035年に向けた長期ビジョンを公表しました。それが本コラム表題「北海道の魅力度・幸福度をともに日本一へ」であります。このビジョンは役職員全員で練り上げ、地域発展に資するならば金融業の枠も超え主体的に関与していくとの意志と、各種調査における北海道の「魅力度」は総じて上位ですが「幸福度」は下位評価が多い現状を踏まえ、北海道全体の地域発展を実現しビジョンを必ず実現させて行くとの想いを込めています。

北海道に関連する全事業者（自治体を含む）の皆さまと、全北海道民があらゆる面で「幸せ」と感じられる北海道を、皆さまと共創して行きたいと思っています。

Vision

北海道の魅力度・幸福度をともに日本一へ

Mission

私たちは、

- **従業員満足地銀グループNo.1を目指すことで、サービスの質とスピードの向上につなげます**
- **北海道の豊かな自然を守るとともに、利活用を促進することで、北海道らしい成長をリードします**
- **北海道のポテンシャル実現のために、全力で経営資源を提供します**
- **資産形成サポートを通じ、道民と幸せを共有することに全力で挑みます**

北洋銀行グループ長期ビジョン